



令和元年度 分野別連携ネットワーク 実施報告

<分野別連携ネットワークとは>


障がい児・者の支援に携わる関係機関の連携を図るための専門部会を随時開催する中で、ご参加いただいた関係者様より、同じ分野で支援に携わる方や相談支援専門員と交流する機会を継続して実施してほしいという声をうけ、分野ごとの連携強化の場として実施。(年4回)

◆第1回

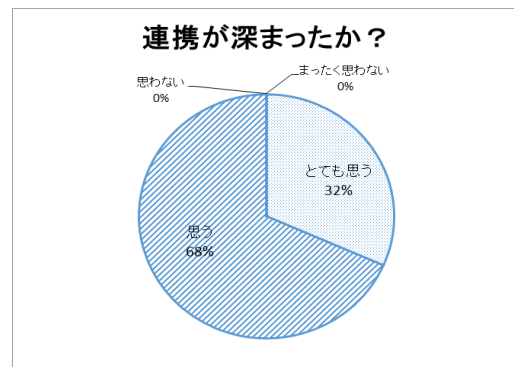
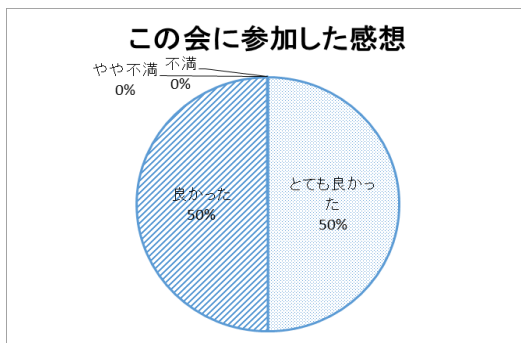
日時	令和元年8月28日(水) 午後3:30~4:30 場所: みんなの森ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ
分野	就労支援分野
参加	相談支援事業所12人、就労支援事業所(移行・A型・B型・定着)18人、基幹相談支援サテライト4人、関係機関1人
議事内容	テーマを決めず、参加者がグループに分かれ、それぞれの事業内容や支援方法などについて情報交換をしたり、日頃感じている困りごとなどについて意見交換する機会を持つことで、顔の見える関係づくりを進め、連携を深める。
成果	メンバーを変えながらグループワークを実施することで、より多くの関係機関で意見交換をする機会を得ることができた。各事業所の特色だけでなく、「まだ計画相談を受けることができるか?」「このような人も就労訓練することができるか」等の現場として必要な情報も交流でき、顔の見える関係づくりのきっかけを作ることができた。
当日の様子	 

- <アンケート結果> ※アンケートの「この会の感想(自由記載)」を要約・抜粋
- ・(普段関わりのない)事業所の担当者と話をすることができてよかった。(12件)
 - ・他の事業所の支援内容を知ることができてよかった。(9件)
 - ・今後も実施してほしい。(4件)
 - ・時間が短かった。(3件)
 - ・事例検討や具体的な連携方法について話せるとよかった。(4件)


◆第2回

日時	令和元年10月29日(火) 午後3:00~4:30 場所：岐阜市役所大会議室
分野	介護保険分野
参加	機能強化型地域包括支援センター 3人、地域包括支援センター 20人、相談支援事業所 17人、 基幹相談支援サテライト 4人 計44人
議事内容	年齢到達等の理由により、障害福祉サービスから介護保険サービスへ移行するケースについての事例検討を通じて、障がい分野と高齢福祉分野において相談支援を担う関係者がお互いに現場の意見や疑問を話し合い、連携を深める。
成果	実際にあった事例をもとにグループワークを実施し、介護保険サービスと障害福祉サービスの違いを知るとともに、事例を通して具体的な連携方法をイメージすることができた。相談支援事業所からは介護保険サービスに移行するにあたり早めの情報提供やサービス調整などが必要となる等の意見が出された。また、地域包括支援センターからは相談支援専門員からの早め(例、6か月前)の情報提供をもとに、同行訪問等での関係づくりができるとよいという意見が出された。それぞれの立場でどのようなことをすべきか等を考える良い機会となった。
当日の様子	

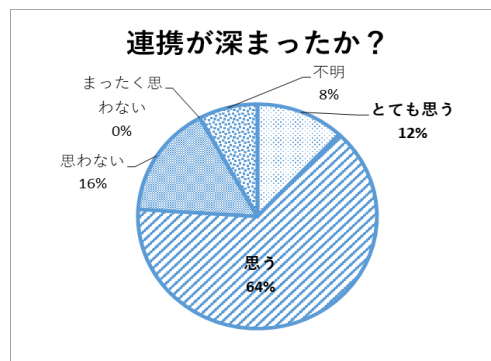
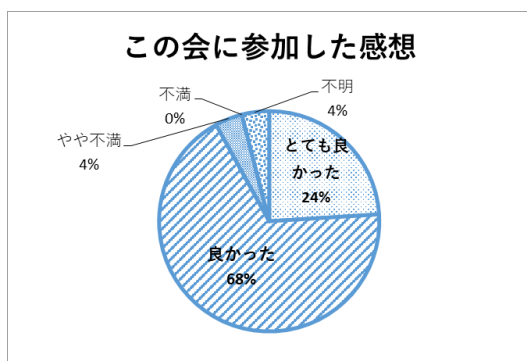
<アンケート結果>




◆第3回

日時	令和元年12月10日(火) 午後3:30~5:00 場所：岐阜市役所大会議室
分野	共同生活援助
参加	共同生活援助事業所 16人、相談支援事業所 15人、基幹相談支援サテライト 3人 計34人
議事内容	テーマを決めず、それぞれの事業内容や支援方法などの情報交換や、日頃感じている困り事などについて意見交換する機会を持つことで、顔の見える関係作りをすすめる、連携を深める。
成果	メンバーを変えながらグループワークを実施することで、より多くの機関と情報交換をする機会をつくることができた。各事業所の特色や空き状況だけでなく、「グループホームの次の支援のためになにができるか」等のグループホームに入居している間にお互いができることに話が発展する場面も見られた。さらに共同生活援助事業所と特定相談支援事業所の連携だけでなく、共同生活援助事業所同士のつながりのきっかけをつくることができた。
当日の様子	

<アンケート結果>



◆第4回

日時	令和2年2月20日（木） 午後3：30～5：00 場所：岐阜市役所大会議室
分野	医療
参加	医療機関17人、相談支援事業所12人、基幹相談支援サテライト4人 計33人
議事内容	医療機関の相談窓口や相談支援事業所の支援内容等の情報交換や、日頃感じている困り事などについて意見交換する機会を持つことで、顔の見える関係作りをすすめ、連携を深める。
成果	メンバーを変えながらグループワークを実施することで、全機関と情報交換をする機会をつくることができた。医療機関にとっては障害福祉サービスについて理解を深める機会となった。医療機関と相談支援事業所の特色や支援状況等について情報共有でき、同機関の現状や課題等も知ることができた。顔が見える関係をつくることができた。
当日の様子	

<アンケート結果>

